

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
いはら 忠 ☎(488)7207

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

☎(483)1151

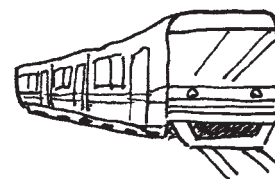
## 東葉高速鉄道は、3期連続で営業利益が50億円を突破

日本共産党は9月議会の一般質問で「東葉高速鉄道の運賃引き下げを求める」質問をしました。

東葉高速鉄道が開業して以来19年、この間八千代市は総額124億円もの出資をして東葉高速鉄道を支えてきました。この財政支援は、当初計画では第一次支援の10年間と予定されていました。それは、営業開始後4～5年で1日あたりの乗降客が14万5千人として計画され、3300億円もの長期債務は返済可能であるとされていたからです。

ところが、バブル崩壊・リーマンショックなどの社会経済情勢の急激な変化のもと、乗降客が伸びなやむなか、第2次支援を行うことが決められました。この第2次支援も来年、2016年度で終わります。そこで、東葉高速鉄道の経営状況についてまず伺いました。

市は、東葉高速鉄道の昨年度の決算について、「単年度の経営のみでみると黒字です」と答えました。



## この1年で64億35百万円もの借金を返済

昨年の利用者がようやく1日あたり14万人を突破したからというわけではなく、東葉高速鉄道は5期連続の黒字でした。赤字なのは建設時の借金だけなのです。

私たち日本共産党は、この黒字の状況から以前より運賃の値下げを求めてきました。通勤・通学定期の値引きもすることで、乗降客の増にもつながるとして要望してきました。

今回の質問では、昨年4月からの通学定期券の値下げから利用客の増につながっていないかもあわせて質問いたしました。

市は乗降客の増につながったことは認めるものの「あと8%通学定期券利用者が増えないと、約1億8千4百万円の減収分を取り戻せない」と答えました。

## 運賃の引き下げと通勤・通学定期券の値下げを

しかし、通学定期券の値下げで利用客が増えたことは間違いありません。1億8千4百万円と聞くと大変大きな問題と考えがちですが、運輸収入146億円の1.26%に過ぎません。

乗降客増の実績は出たのですから、今後も1. 運賃の値下げ。2. 通勤・通学定期券の値下げの2点を実現するよう強く求めていきますが、東葉高速鉄道通学定期券が値下げされていることの周知をもっと行うべきと併せて求めていきます。